

# 校内研修計画書

- 1 学校名 高山村立高山小学校
- 2 校長氏名 佐藤 三枝子
- 3 研修主任氏名 小倉 洋子
- 4 令和8年度の研修計画

- (1) 分野 学習指導
- (2) 主題 主体的な学習者の育成～個別最適な学びと協働した学びを通して～
- (3) 主題設定の理由

昨年度は、児童の学びを深め、主体的な学習を展開していくために、「協働した学び」における学習課題の質に着目していきたいと考え研究に取り組んできた。そして、研究を通して、児童は、工夫された課題に対して「没頭・夢中になって関り考える」ことができたり、他者、教材、自己との対話により「安心・安定」した授業を成立させることができたりした。学習課題の設定の工夫を念頭に置きつつ、本校児童の学習到達度が伸びたこと、しかし学習到達度に個人差もあることに鑑み、今年度は、子ども一人ひとりの興味や特性、学習の進度など個々の子どもの実態に応じた指導にも着目し、「個別最適な学び」も取り入れていきたいと考える。

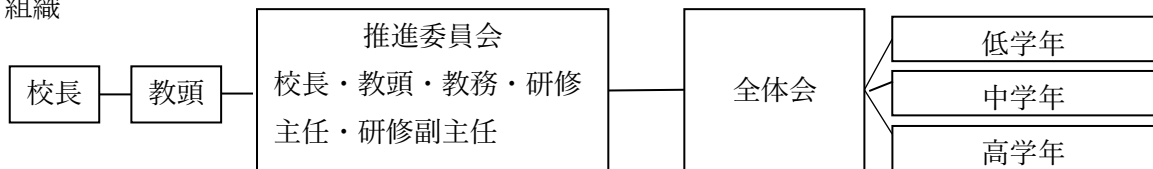
「個別最適な学び」と「協働的な学び」は、文部科学省が打ち出している教育方針の2本柱である。「個別最適な学び」により、学習意欲が高まり、自分で学びを進める力が育つ。また、「協働的な学び」により、自分一人では気づけない視点を見出し他者とのすり合わせを行うことで思考力・判断力・表現力が深まると考える。

そして、この「個別最適な学び」と「協働的な学び」の2つを一体的に行うことで、「主体的・対話的で深い学び」を実現できると考え、本主題を設定した。

#### (4) 研修内容及び方法

- 児童が明らかにしたくなる学習課題を設定し、ブロック別研修を実施し、その後の授業研究会で授業の成果と課題を共有する。
- レベル別問題や自分でテーマを決める探求学習などで、学力や理解力に応じた学びや興味・関心に応じた学びを選択する。生成AIを活用し、児童一人ひとりのニーズや特性に合った学びの有効な支援の在り方を模索していく。
- 発達段階や児童の実態に応じて、ペア学習・小グループ・全体などの学習形態で能動的で他者と協働した学びを展開する。
- 研修を定期的に行い、情報交換、計画の確認・修正、実践の成果と課題を明らかにし、今後の授業改善に役立てる。

#### (5) 組織



#### (6) 年間計画

- 1 学期 ○児童の実態把握 ○ 研究主題、組織、計画の決定 ○ 研修内容の共通理解と指導方法の研究 ○ 一人一授業による授業公開 ○ 指導法研究等の情報交換
- 2 学期 ○ 授業公開、授業研究会、指導法研究、情報交換  
○ ブロック代表による授業公開 ○ 要請訪問
- 3 学期 ○ 研究のまとめと次年度の研修の構想